

## プログラム名

---

東京慈恵会医科大学附属病院救急専門研修プログラム

## 募集定員

---

6名

## 研修期間

---

3年

## プログラムの特徴

---

東京慈恵会医科大学は学祖高木兼寛の「病気を診ずして病人を診よ」の信念を継承し、都心型救急医療と地域救急医療、ER型救急研修と救命センター研修を含む稀有な大学病院研修で、幅広いプログラムを提供します。(案)完全シフト制を採用しており、ワークライフバランスを考え女性救急医育成にも積極的に行っています。

<当救急科専門研修プログラムで研修するメリット>

- ・立地が良い(銀座六本木直近の本院、若者の渋谷と呼ばれる柏、下町葛飾)
- ・本院は、虎ノ門ヒルズ直近、東京オリンピック選手村から最も近い大学病院本院
- ・東京駅や羽田空港へのアクセス抜群
- ・大学としてのER型救急のパイオニア
- ・新病院(や新救命センター)立ち上げに関与できる
- ・幅広い救急疾患に対応できる医師を養成(総合診療能力を育成できる)
- ・女性医師への配慮あり(ワークライフバランスへの配慮あり)
- ・研究(臨床系大学院、学位と専門医の同時取得可能)への参加
- ・国際学会への参加、海外の大学とのネットワークあり

本プログラムでは、様々な救急の現場で遭遇する疾患、病態、検査・診療手順、手術、手技を経験するために、基幹研修施設と連携研修施設での研修を組み合わせさせていただきます。

基幹領域研修医として救急科専門医取得後(臨床系大学院の場合には平行して)、リサーチマイン드의醸成および医学博士号取得を目指す研究活動(大学院進学も含む)や、サブスペシャル領域である集中治療医学領域専門研修プログラムに進んで、救急科関連領域の医療技術向上を目指すことも可能です。出産、疾病罹患などの事情に対する研修期間についてのルールは「救急科研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件」をご参照ください。